

WHERE
LIES
YOUR
TEXT?



シ
エ
イ
ク
ス
ピ
ア
祭

日時: 2015年4月25日(土) 13:00~16:30
場所: 明治大学 駿河台校舎 リバティタワー
(東京都千代田区神田駿河台1-1)

一般公開 (事前予約不要、入場無料)

- 13:00 ~ ご挨拶
- 13:10 ~ 対談 シェイクスピアの料理法
講師 青木 豪 (劇作家・演出家)
聞き手 井上 優 (明治大学)
- 15:00 ~ 講演 シェイクスピア時代の「検閲」とはなにか
講師 太田 一昭 (九州大学)



青木豪(あおきこう)氏

1967年横須賀生まれ。明治大学文学部文学科演劇学専攻卒業。97年に『アフタースクール』で劇団グリングを旗揚げし、全18公演の作・演出を務め、市井の人々の巧みな会話劇で評判を呼んだ。劇団は2009年に活動休止、14年に解散。また、プロデュース公演や他劇団にバラエティに富んだ作品を提供している。シェイクスピア関連の作品では、D-BOYS STAGEの『十二夜』(13年10月・演出)、同『ヴェニス商人』(11年4月・演出)、『ロミオ&ジュリエット』(12年5月・上演台本)、『リチャード三世』を下敷きにした、いのうえ歌舞伎『鈍切り丸』(13年10月・脚本)を手がけている。



井上優(いのうえまさる)氏

明治大学文学部准教授。1967年生まれ。演劇学、西洋演劇史(特にシェイクスピアを中心とする近代の演劇の表現モードの変遷)を研究。明治大学のシェイクスピア上演(明治大学シェイクスピア・プロジェクト)をコーディネイターとして統括・指導。国際演劇評論家協会日本センター会員。日本演劇学会理事。



太田一昭(おおたかずあき)氏

九州大学大学院言語文化研究院教授。シェイクスピア劇、16~17世紀英国演劇の検閲・統制、地方巡業、戯曲印刷・出版史を研究。主著に『英国ルネサンス演劇統制史——検閲と庇護——』(単著、九州大学出版会、2012年)、『新編シェイクスピア案内』(分担執筆、研究社、2007年)、『言葉の絆』(共編著、開拓社、2006年)、『初期英国演劇統制資料』(編集、九州大学言語文化研究院、2003年)、『エリザベス朝演劇と検閲』(編著、英宝社、1996年)など。

日本シェイクスピア協会・日本英文学会 共催

明治大学文学部協賛 明治大学学部間共通総合講座「シェイクスピアの現代的魅力」提携

お問い合わせ先: 日本シェイクスピア協会事務局 Tel & Fax: 03 3260 8109

ホームページ: <http://www.s-sj.org>